



# 南丹市美山町観光地経営戦略（概要版）

## 策定の背景、期間、位置づけ

2020年度に南丹市美山町の40代を中心とした9名の美山観光ビジョン策定委員会において策定した「美山観光ビジョン2021」の策定から5年が経過し、更新時期となりました。本戦略は期間を2026年度～2030年度の5年間とし、新たに南丹市美山町の観光の取り組みや地域経営の方針、指標、実施手段を記すものです。

観光庁が示す「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」「日本版持続可能な観光ガイドライン」や第2次南丹市総合計画や国連世界観光機関のベスト・ツーリズム・ビレッジの評価指標も踏まえて策定されています。

住民や地域事業者、来訪者、行政等が共有の認識を持って観光まちづくりに取り組むための方向性を示すものです。



## 私たちの目指す観光（基本理念）と基本方針

目指す姿

**住民、事業者、来訪者が学び合い、共創することにより、世界に誇れる持続可能な観光地を実現します。**

基本方針1	<b>地域住民の満足度向上</b> 地域における観光消費額の増加、地域ガイドの活躍の機会の増加、地域に対する誇りや自己肯定感の向上、文化・環境保全協力金の増加等による地域住民の満足度向上を目指します。また、観光を通じて地域内のガバナンス強化を図り、持続可能な観光の実現を目指します。
基本方針2	<b>来訪者の知的好奇心を満たす高付加価値化された旅行商品の提供</b> 地域に残る様々な文化や知恵、自然環境を見て楽しむことに加え、保全の背景や人々の思いを観光を通して伝えることで、観光資源を高付加価値化し、学ぶ意欲の高い旅行者に提供します。
基本方針3	<b>世界に誇れる持続可能な観光地の実現</b> ベスト・ツーリズム・ビレッジの選定を契機に、これまで美山町が地域一体となって取り組んできた地域振興や観光振興を、世界に向けて発信し、世界に誇れる持続可能な観光地を育みます。

南丹市美山町の目指す観光はいつも美山に暮らす人々と共にあり、先人から受け継いだ豊かな自然と伝統文化、そして、地域を愛する思いを住民、事業者、来訪者とともに次世代につなぐことを最優先に考えます。住民、事業者、来訪者、それぞれの幸せが観光によって実現し、結果として地域経済が循環し、人が暮らし、地域が将来も維持される社会を目指します。

経済効果や経済成長のみを追い求めるのではなく、住民が楽しく、幸せに暮らし、地域に対する愛着と誇りを高めることを中心に据え、観光を通じたまちづくりを地域一体となって実現できる体制づくりを目指します。

## 美山町の観光が取り組む必要のある課題

人口減少や高齢化、消費単価の低迷、繁忙期と閑散期の差といった全国の観光地に共通した取り組むべき課題の他に、美山町特有の課題として下記3点が挙げられます。

### 【課題1】地域活動基盤の強化

美山町の観光まちづくりの基盤は住民、行政、事業者が一体となった推進体制により構築されてきました。しかし、人口減少や振興会や地域イベント、エコツーリズム推進事業への行政予算の見直し等により、地域内の賑わいや住民参加機会が現状しつつあり、事業継続や新規展開が困難となっています。

### 【課題2】地域内ガバナンス力の低下

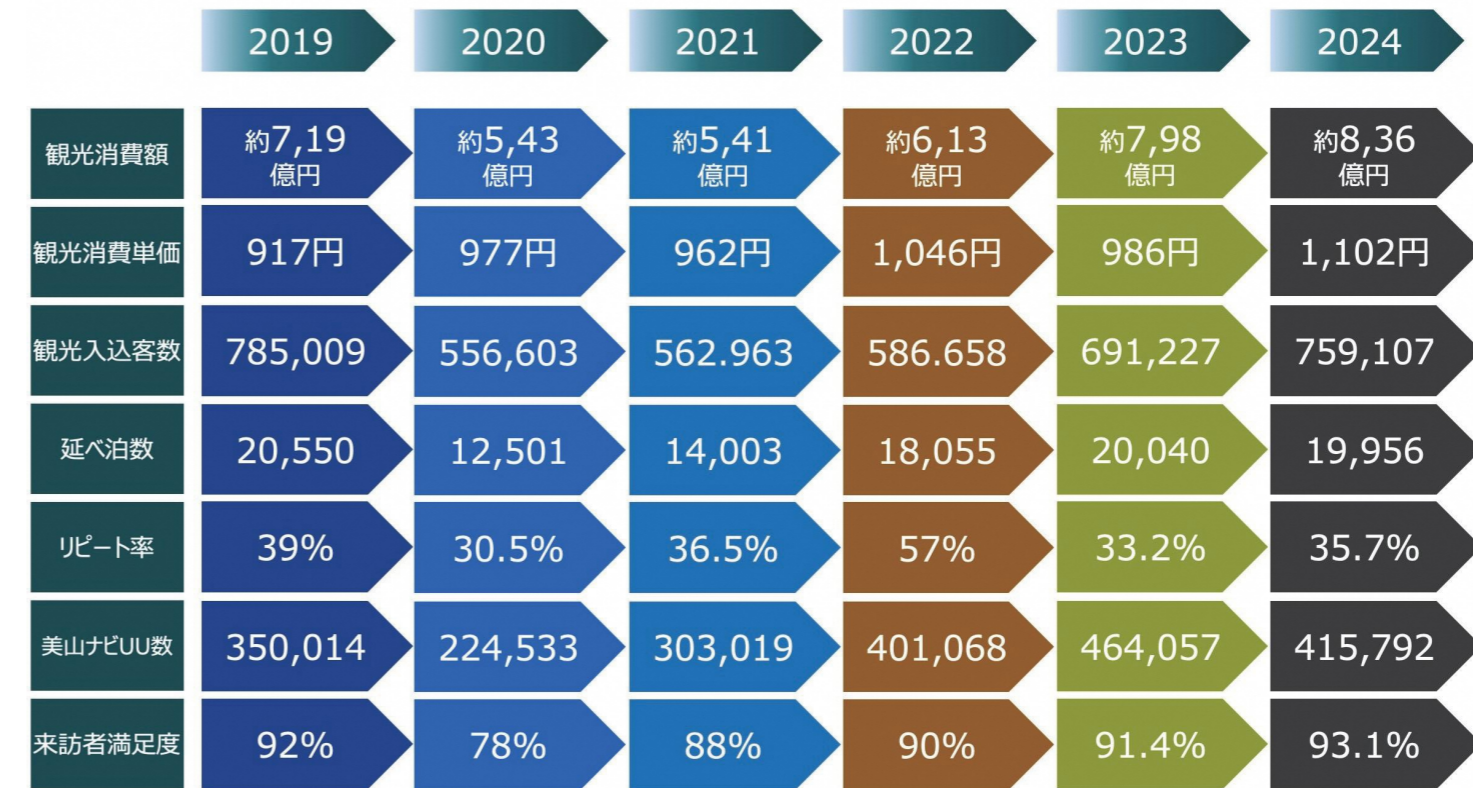
コロナ禍以降、美山町では観光に関わる新規事業者が増加傾向にあります。一方で、担い手不足や人材育成が進まないこと等により、事業者同士や関係者間の連携が弱まっている側面もあります。これからは既存事業者、新規事業者、住民、振興会等が連携して、観光地としての美山ブランドの力を高めていくことが求められます。

### 【課題3】外部環境リスク

美山町の観光は天候や自然災害等の外部環境の変化の影響を受けやすく、自らの力で制御することが難しいリスクを持っています。例えば、近年の積雪量の減少によりイベント名称の変更があったり、自然災害による道路の寸断が発生すると観光地への物流の滞留やアクセス悪化が発生し、観光需要を大きく左右します。

## 美山町の観光の現状

美山町の観光消費額はコロナ禍以降順調に回復しており、宿泊施設数は設立時から約1.6倍に増えています。また、宿泊者数を見ると、2019年度から2024年度にかけて豪州宿泊者数が7倍以上、米国宿泊者数は2.7倍以上増えており、全体数は少ないものの、豪米からの来訪者の伸びが見られます。一方で延べ泊数総数は2017年度比約88%で、今後更に伸びる余地があります。観光入込客に対する延べ宿泊者数は約2.6%に留まり、滞在型観光スタイルの確立が課題です。



※美山ナビUU数は観光情報サイト美山ナビを訪問した利用者の数

## 具体的な取り組みについて

	JSTS-D	基本戦略	基本施策
基本戦略	A 持続可能なマネジメント	1 観光による社会資本の向上と協働事業、協働体制の促進 (基本方針1,3)	1 機能的なガバナンス構築及び観光推進体制の強化
			2 住民・会員向けの情報公開、情報発信、交流の場の充実
			3 デジタル技術の活用によるデータ分析 (域内外の観光動向の把握等)
	B 社会経済のサステナビリティ	2 生産性向上のためのDXの推進 (基本方針1,2)	3 デジタル技術の活用によるデータ分析 (来訪者分析、ニーズ分析等)
			4 データに基づいた地域内調達率の高い旅行商品開発と販路拡大
C 文化のサステナビリティ	3 来訪者と共により守り育てる観光地づくり (基本方針2)	5 観光とまちづくりの好循環を生むラーニングツーリズムの拡充と新たな財源の創出	
D 環境のサステナビリティ	4 暮らしが紡ぐ景観と文化の継承 (基本方針1,2,3)	6 景観や文化保全の取り組みの発信と継承機会の創出	
		5 自然資源の保護保全と活用 (基本方針1,2,3)	7 南丹市美山エコツーリズム推進全体構想に基づくエコツーリズムの推進

3つの基本方針に沿って、5つの戦略と7つの施策に取り組みます。地域内のデータ収集と分析により、観光がもたらす経済効果や住民への影響等を正確に把握するとともに、結果を観光な限り住民の皆様にも共有します。

また、振興会や事業者間の連携強化も図り、地域一体となった観光の取り組みを促進します。そして、これまで取り組んできたエコツーリズムの取り組みを生かした新しい取り組みとして、美山町を「学びの場」として捉えた、日英対応可能なラーニングツーリズムプログラムの開発を行い、美山町の環境・景観保全の取り組みや農林漁業、まちづくりへの共感者を増やし、来訪者と共創した持続可能な観光地経営を行える体制づくりを目指します。

## 主な数値目標

**重要目標達成指標**  
住民・来訪者・事業者の総合満足度指数75%以上を5年間維持し、地域が持つ価値と観光による収益が地域内で循環する状態を確立する

**観光消費額**  
2024年度 8.36 億円  
2030年度 9.46 億円

※インフレ率2%、付加価値化率0.5%想定

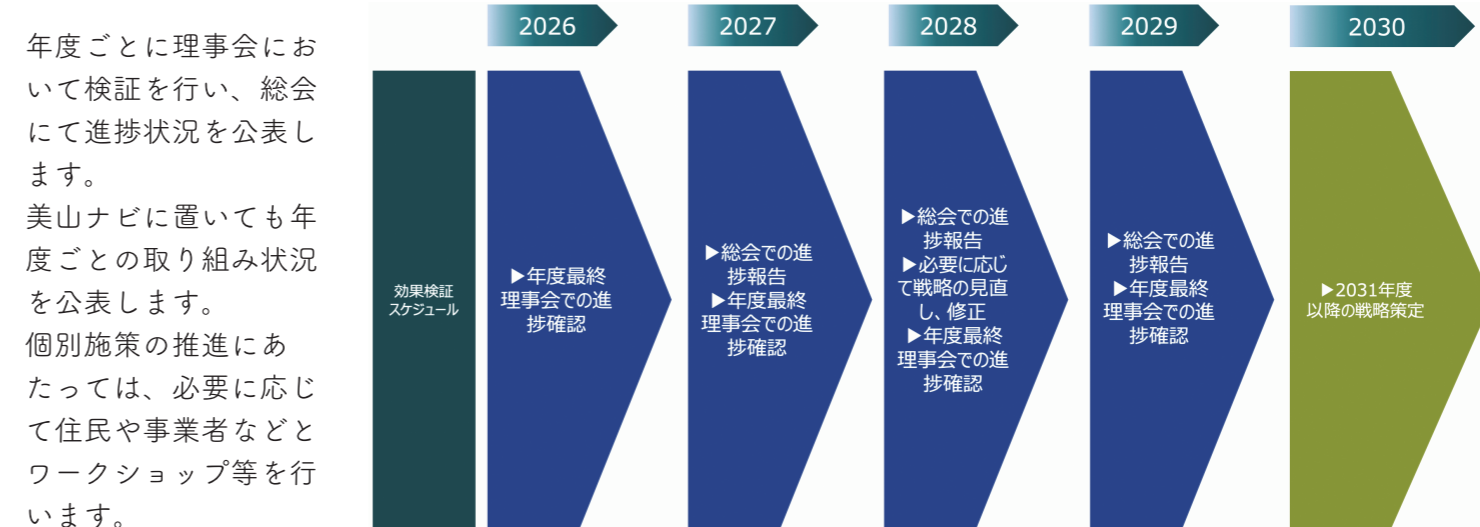
**その他調査する指標**  
1.1 人あたり旅行消費額  
2. 延べ宿泊者数  
3. 来訪者満足度  
4. 持続可能な観光に対する住民満足度  
5. 観光事業者の平均給与額  
6. 月別来訪者数の平準化率  
7. 域内調達率（地域還元率）  
8. 美山小中学校の地域愛着指数

## 推進体制

本戦略は地域住民、地域事業者、DMO、来訪者のすべての方が関わり達成されるものです。持続可能な観光地経営を担う中核組織として、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会（美山DMO）を位置付け、目標達成のため、観光業を始めとする多様な産業の事業者、地域住民、行政（国、京都府、南丹市）、来訪者、DMOといった多様なステークホルダーが協働することで、地域の観光機能強化を図ります。また、DMOを中心に、必要に応じたスキルアップ講座や安全管理研修、衛生管理講習の開催や来訪者へのマナー啓発等を行います。美山小学校や美山中学校とも連携し、未来の美山町を担う人材育成、将来的な定住促進のため、若年層の観光教育にも取り組みます。

主体	本戦略推進にあたっての役割
住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>美山での暮らしを楽しみ、積極的に外に発信</li> <li>景観や環境に配慮した暮らしを行う</li> <li>伝統行事への参加や文化の継承</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の持続可能性（経済、文化、環境）に配慮した経営や認証の取得</li> <li>DMOのデータ収集への協力</li> <li>地域内雇用の促進と働き続けることができる職場環境づくり</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光財源の確保、割り振り</li> <li>広域的なプロモーション</li> <li>統計調査の協力</li> <li>看板やトイレ等のインフラ整備</li> </ul>
DMO	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光の司令塔として戦略の策定、数値目標の設定と進捗管理</li> <li>関係各所との合意形成</li> <li>商品開発、情報発信、プロモーション</li> <li>観光財源の確保</li> </ul>
来訪者	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の暮らしに配慮しながら観光を楽しむ</li> <li>関係人口、交流人口として地域に定期的に関わる</li> </ul>

## 計画推進スケジュール



全編をご希望の方は京都丹波高原国定公園ビジターセンターにて配布しております。※部数に限りがございます。

作成：一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 2026年3月作成 〒601-0722 京都府南丹市美山町安掛下23 電話：0771-75-9030 E-mail：info@kyoto-miyama.jp